

古文ドリル：「で」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「で」の正体（2用法）

古文の「で」は、直前の語が「活用語の未然形」か「体言」かを見るだけで識別できます。最も重要なのは、現代語にない**打消の意味**を見落とさないことです。「で」一文字で文意が正反対になります。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 接続助詞「で」	未然形＋で	～しないで・～ずに（打消）	言は で
② 格助詞「で」	体言＋で	～で（手段・場所・原因）	舟 で

接続助詞「で」は、打消の助動詞「ず」の連用形が変化したもの。だから意味は**打消**です。

識別の鉄則

- 「で」の直前の音を見る。四段ならア段（行か・言は）＝未然形＝**打消の接続助詞**。
- 迷ったら直前の語に「ず」を付けてみる。「行か＋ず」と自然につながれば未然形＝打消の「で」。
- 直前が体言（名詞）なら格助詞「で」（手段・場所・原因）。ただし格助詞「で」は中世以降の用法で、平安の作品ではほとんどが**打消の接続助詞**。
- 「て」と「で」を混同しない。連用形（イ段）＋て＝順接「～して」。未然形（ア段）＋で＝打消「～しないで」。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 動詞の後の「で」は、まず打消を疑う

- 「言はで」「行かで」「聞かで」「帰らで」のように、**動詞の未然形＋で**を見たら「～しないで・～ずに」と訳す。
- 打消を読み飛ばすと文意が真逆になる。動詞の後の「で」では必ず立ち止まる。

コツ② 「ず」を付けて未然形か確かめる

- 「行か」→「行かず」○ → 未然形 → 打消の「で」

- 「舟」→「舟ず」×→体言→格助詞の「で」

コツ③ 「て」とのちがいは直前の音

- イ段+て（行きて・見て）＝順接「～して」
- ア段+で（行かで・見で）＝打消「～しないで」

よくある引っかけ

- 「あらで」はラ変「あり」未然形「あら」+で＝「～でなくて・～しないで」。
- 「せで」（サ変）「来（こ）で」（カ変）も未然形+で＝打消。
- 体言+で（格助詞）は中世以降。平安の文では「にて」が使われ、「で」は打消が中心。

採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

未然形+で（打消）と体言+で（格助詞）を純粋に見分ける。

Q1. 次の傍線部「で」を識別せよ。

言はで思ふ。

Q2. 次の傍線部「で」を識別せよ。

行かでやみぬ。

Q3. 次の傍線部「で」を識別せよ。

舟で渡る。

Q4. 次の傍線部「で」を識別せよ。

聞かで過ぎぬ。

Q5. 次の傍線部「で」を識別せよ。

帰らでありけり。

Q6. 次の傍線部「で」を識別せよ。

山で休む。

Q7. 次の傍線部「で」を識別せよ。

思はで過ぎにき。

Q8. 次の傍線部「で」を識別せよ。

見でやみぬ。

Q9. 次の傍線部「で」を識別せよ。

待たで出でぬ。

Q10. 次の傍線部「で」を識別せよ。

ひとりで泣く。

Q11. 次の傍線部「で」を識別せよ。

咲かで散る。

Q12. 次の傍線部「で」を識別せよ。

寝で明かす。

Q13. 次の傍線部「で」を識別せよ。

来(こ)でやみぬ。

Q14. 次の傍線部「で」を識別せよ。

せでやみにき。

Q15. 次の傍線部「で」を識別せよ。

車で行く。

Q16. 次の傍線部「で」を識別せよ。

食はで過ごす。

Q17. 次の傍線部「で」を識別せよ。

あらではかなし。

Q18. 次の傍線部「で」を識別せよ。

死なでながらふ。

Q19. 次の傍線部「で」を識別せよ。

受けで返す。

Q20. 次の傍線部「で」を識別せよ。

筆で書く。

【第2部】標準編 (Q21~Q50)

さまざまな活用の動詞で、未然形+で（打消）を見抜き、正しく訳す。

Q21. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

問はで過ぎにき。

Q22. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

言はで思ひそめてき。

Q23. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

聞かでやみにしことの悔しさよ。

Q24. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

帰らでみたりければ。

Q25. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

なかなか言はでやみにしを。

Q26. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物も食はで嘆く。

Q27. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

知らで過ぎけり。

Q28. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

月も見で寝（い）ぬ。

Q29. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

起きで臥（ふ）したり。

Q30. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

答へでうつぶす。

Q31. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

出ででこもりをり。

Q32. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あへで泣きぬ。

Q33. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

知らでやありけむ。

Q34. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

待たで帰りぬ。

Q35. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

ことづ（言伝）てで別れぬ。

Q36. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

花も咲かで春暮れぬ。

Q37. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

文も書かで月日経ぬ。

Q38. 次の傍線部「で」を識別せよ。

京で聞く。

Q39. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

たれ（誰）も来（こ）でさびし。

Q40. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物言はで笑む。

Q41. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

雨にもあへで濡れにけり。

Q42. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

心も解けで過ぐす。

Q43. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

矢も射で逃げぬ。

Q44. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

道も知らで惑ふ。

Q45. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

顔も見せで去りぬ。

Q46. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物も言はでながめをり。

Q47. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

思ひも果てでわかれぬ。

Q48. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

いとま（暇）も得で急ぐ。

Q49. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

言ひも果てで泣きぬ。

Q50. 次の傍線部「で」を識別せよ。

大路（おほち）で見る。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

「て」と「で」の区別、紛らわしい識別、文脈で打消を見抜く問題を中心に。

Q51. 次の傍線部を識別せよ (て/で)。

行きて見る。

Q52. 次の傍線部を識別せよ (て/で)。

行かで見る。

Q53. 次の傍線部を識別せよ (て/で)。

見て泣く。

Q54. 次の傍線部を識別せよ (て/で)。

見で泣く。

Q55. 次の傍線部を識別せよ (て/で)。

聞きて驚く。

Q56. 次の傍線部を識別せよ (て/で)。

聞かで見く。

Q57. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

心ならずも離れで過ぐす。

Q58. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

月待ち出で入りぬ。

Q59. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あらで世にふる。

Q60. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

いも寝（ね）で夜を明かす。

Q61. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

待ちてみたり。

Q62. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

待たで去りぬ。

Q63. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

ものも言はでぞ立てりける。

Q64. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

訪（と）はで月日を経。

Q65. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

しのびで音をのみ泣く。

Q66. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

え避（さ）らで別る。

Q67. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

起きてて見る。

Q68. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

起きで寝（い）ぬ。

Q69. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

名残を惜しまで別れぬ。

Q70. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

暮れで明けぬ。

Q71. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

え行かでやみにき。

Q72. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

立ち返り見でぞ過ぎける。

Q73. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

雪消えで残れり。

Q74. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

言ひて去りぬ。

Q75. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

言はで去りぬ。

Q76. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

風吹かで波静かなり。

Q77. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

涙もとどめで流る。

Q78. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

物も覚えで臥（ふ）したり。

Q79. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

恥も忘れでもだす。

Q80. 次の傍線部「で」を識別せよ。

一筆で書く。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

有名出典の一節や、文意から打消を見抜く実戦問題で総仕上げ。

Q81. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

夢と知らで寝にけり。

Q82. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

心にもあらで憂き世にながらへば。(後拾遺集・三条院)

Q83. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

ありとても頼むべきかは世の中を知らで過ぐすぞはかなかりける。

Q84. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

もの言はで音にぞ泣くらむ。

Q85. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

逢はでやみなむ憂き身ともがな。

Q86. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

雲隠れにし夜半（よは）の月かな、待ち出で入りぬ。

Q87. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

別れでやまむと思ふ。

Q88. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

来（き）て見れば。

Q89. 次の傍線部を識別せよ（て／で）。

来（こ）でやみぬ。

Q90. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

言（こと）問はで過ぎにけり。

Q91. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

せでもありなむ。

Q92. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

顧（かへり）みで進む。

Q93. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

涙のこぼるるを知らでありけり。

Q94. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

たのまで過ごす年月。

Q95. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

行きやらで山路暮らしつ。

Q96. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

あへでこぼるる涙かな。

Q97. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

知らでもあらじ。

Q98. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

寝（ね）られ**で**明かしかねつる。

Q99. 次の傍線部「で」を識別し、現代語訳せよ。

つひに行か**で**やみにし道。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「で」の直前の語をもう一度確認しましょう。

- **接続助詞「で」**…未然形+で。打消「～しないで・～ずに」。動詞の後の「で」は必ずこれを疑う。直前に「ず」を付けて自然なら未然形。
- **格助詞「で」**…体言+で。手段・場所・原因「～で」。ただし中世以降の用法で、平安の文では打消の接続助詞が中心。
- **「て」との区別**…連用形（イ段）+て=順接「～して」／未然形（ア段）+で=打消「～しないで」。上一段・上二段など未然形と連用形が同形の語は、続く「て／で」で判断する。

いちばん大切なのは、**打消の「で」を読み飛ばさない**こと。「で」一文字で文意が真逆になります。動詞の後の「で」では必ず立ち止まる習慣をつけましょう。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「に」「ば」「の」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太